



維新・半田市民の会 加藤美幸

コロナ禍をふまえた避難所運営と避難所外避難の対応は

市内の自主防災会が地域住民へ行ったアンケート調査で、コロナ流行前と後では避難行動に意識の変化があることがわかりました。災害が起きた時、指定避難所へ行く予定の方は62.9%から35.9%に減り、在宅避難は29.4%から49.8%に増えました。車中泊は3.4%から7.6%、親戚宅等への避難は1.9%から2.9%、テント泊は1.3%から2.7%に変化し、避難所での感染を不安に思う住民が数多くいることがわかります。半田市は感染症対策をふまえた災害対応にどのような取組む考えですか。

県作成の「避難所における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき、従来の感染症対策に加えスペースの拡大、避難者の区分け、検温や問診による健康確認、体調不良者の専用室確保の他、アルコール消毒やゴム手袋

など衛生用品の配備を強化し、できるだけ感染のリスク軽減を図ります。市内ホテル事業者と協定し災害時に避難所とする準備もしています。

在宅や車中泊など避難所外で避難する人の把握や支援に対し、市や地域の役割はどのようですか。

まず最寄りの地域の避難所にて避難者カード（登録票）を記入し届出をしてください。半田市では市内6か所に地域拠点支部を設けており、避難所外の避難者にも被災後の医療や福祉に係る支援情報や物資の提供などの役割を担います。ただし、発災直後においては自助が重要です。普段からハザードマップで被災リスクを確認し避難方法を考え、各家庭で水や食料、マスクなど備蓄していただき。命を守る防災は自助共助公助の連動が欠かせません。情報の伝達方法は、屋外スピーカーの放送や広報車

の巡回、ホームページや学校メルマガ、防災ツィッター、避難所の掲示板などあらゆる手段で広報活動を行います。



無所属 鈴木健一

身寄りのない生活困窮者の住まいの確保と死亡後の対応

身寄りのない単身高齢者の住まいの確保についてどう考えていますか。

地域包括ケアシステムを推進する中で、住み慣れた地域や自宅を安心して暮らせるための支援を行っています。半田市の身元保証の仕組みはどのようになっていますか。

入院・介護施設への入所をする場合には、半田市地域包括ケアシステム推進協議会において身元保証等がない方の入院・入所にかかるガイドラインを作成し、活用しています。

生活保護利用者が死亡した時の遺品整理の費用負担はどのようになっていますか。

死亡した時点で生活保護は廃止になるため、遺品整理にかかる費用を生活保護費で賄うことはできません。

遺品整理の仕組みを作るべきだと思います。

遺品整理の仕組みを作るべきだと思います。



すがいかができますか。ガイドラインを作る予定です。

新型コロナウイルスに対するPCR検査の実施

半田市において、高齢者を対象とするPCR検査を実施する考えはありますか。

感染症拡大予防には、市単位ではなく広域で実施しなければ、十分な効果が期待できないことや新たな医療スタッフを確保できない等の理由で行わない判断をしました。何度も検査が受けられるような体制を作るように、国や県に求めるべきではありませんか。

第3波と言われる状況で、感染していない事を確認したいという気持ちは理解しています。半田市では、感染の疑いのある方への対応を優先したいと考えます。

一回1万8千円かかる検査費用に対し高齢者を助成する考えはありますか。

そのような考えはありません。

そのような考えはありません。

そのような考えはありません。



公明党 山田清一

災害情報の伝達強化

ひとり暮らし高齢者など情報弱者は何世帯と想定できますか。

情報弱者については、75歳以上の後期高齢者のみの世帯と想定した場合、約6500世帯あります。

個別受信機（防災ラジオ）を導入した場合、受信機一台の価格及び情報弱者の世帯へ配布した場合の総額予算はいくらになりますか。

個別受信機の購入単価は約3万円で、情報弱者の世帯全てに配布する場合の総額はおよそ2億円、電波塔改修費用と合わせますと、約2億4千万円です。

市民の命を守る戸別受信機（防災ラジオ）の導入について、市長の見解を伺います。

人の命にかかわることですので、検討します。

図書館の今後に向けて

今後、資料の利用状況や問合せ内容を参考にしながら、改めて導入について検討します。

「書籍消毒機」

「書籍消毒機」をどのよう認識していますか。また、近隣市町の導入状況をお尋ねします。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

「書籍消毒機」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。



書籍消毒器 ブックシャワー

